

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 「大学等による物品共同調達検討会」 議事概要

日時：令和 5 年 9 月 11 日（月）10 時～11 時

会議方法：Microsoft Teams によるオンライン会議

参加者：香川大学 経理課長・宮川裕司、経理課課長補佐・永井一成

香川短期大学 副学長・齊藤栄嗣、入試センター長・勘原利幸、学生支援部次長・丹下智博、総務部次長・坂本毅
せとうち観光専門職短期大学 准教授・田保顕、事務局長・原田栄二

高松大学・高松短期大学 総務部次長（財務担当）・吉田千順、高松短期大学 総務部次長（企画担当）・山本直子

徳島文理大学 地域連携センター長・中筋政人、副センター長・箕田康一、総務部施設用度課長・柏原達弘

1 物品調達の現状等

香川大学	・四国 5 大学（香川大学、徳島大学、鳴門教育大学、愛媛大学、高知大学）で、平成 24 年度より事務の共同調達を行っている。対象は、PPC 用紙、トイレットペーパー、重油である。メリットはスケールを活かして単価が安いこと、デメリットは県外大学に対応できる競争参加の業者が限られていること。県内で共同調達する地域的なデメリットはない。 ・PPC 用紙とトイレットペーパーは原則月 1 回大学全体分をまとめて発注し、キャンパスごとに納品してもらっている。年間、数千箱規模の発注となるので、対応できる業者が限られる可能性がある。重油は附属病院で使用している。
香川短期大学	・共同調達はしていない。 ・共同調達の対象は、ある程度スケールのある PPC 用紙、トイレットペーパーが考えられる。
せとうち観光専門職 短期大学	・共同調達は実施していない。 ・事務用品はカウネットで購入している。価格の安さ、納品までのスピード感、在庫を持たなくてもよいことがメリット。トイレットペーパーは地元業者から年 2 回ほど購入。重油は非常用発電装置の燃料として年に 1 回買うかどうかというところ。
高松大学 高松短期大学	・共同調達はしていない。 ・PPC 用紙は高松市内の 1 社との単価契約により購入。学内にある複数の印刷室ごとに、常時 5、6 箱の在庫となるよう週に複数回納品されている。トイレットペーパーは 2 か月に 1 度程度、10 箱ずつ購入しているので共同調達は可能と考える。重油は少量の購入となる。

徳島文理大学（香川キャンパス）	・共同調達はない。 ・徳島キャンパスとは別に、香川キャンパス独自に経理と物資の調達をしており、学部ごとに業者と契約している。PPC 用紙、トイレットペーパー、重油は共同調達のメリットがある。PPC 用紙はネットリコーにて事務部門だけで月 1 回 3 万円程度を購入している。トイレットペーパーは学内 5 か所に、それぞれ月 3、4 回の納品があるので在庫は少ない。ボイラーで使用する A 重油は月 1 回 100 万円以上購入している。
-----------------	---

2 四国 5 大学による事務の共同調達について

- ・トイレットペーパーは 5 大学、重油は香川大学・徳島大学・愛媛大学・高知大学、PPC 用紙は香川大学と鳴門教育大学で実施。
- ・幹事校は毎年協議して決定するが、調達物品が増えないので幹事校も交代していない。トイレットペーパーは徳島大学、重油は高知大学、PPC 用紙は香川大学が担当。5 大学での協議はオンラインやメールで行っている（コロナ前は対面で実施）。
- ・業者との契約締結後は単価が高くても抜けることはできないので、契約前に参加について十分検討する必要がある。
- ・5 大学間で協定を締結するが、どの品目の共同調達に参加するかは各大学で選択できる。令和 6 年度の共同調達は決定しているので、香川県内の他大学等との連携は令和 7 年度からになるが、5 大学協定から抜けるには大学間や学内での検討が必要。また、現状を考えると県内連携できる物資は PPC 用紙のみとなる。
- ・取引業者は幹事校が決定し、県外業者も対象となる。年間購入予定数量に基づき競争入札を行い、単価契約をする。契約は幹事校と業者間で行うが、納品先は各大学となる。発注、支払いは各大学で行う。
- ・幹事校は、各校の購入予定数量をまとめるなどの事務作業はあるが負担感はあまりない。

3 今後の方針

- ・共同調達によるスケールメリットがどの程度あるかを確認するため、香川大学を除く大学等で情報共有（業者名、数量、単価など）を行い、令和 6 年度実施について検討する。
- ・令和 7 年度については、令和 6 年度の方針を踏まえて、香川大学を含めて再検討する。